

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アップガレージ  
 コード番号 3311 URL <http://www.upgarage.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 石田 誠  
 (氏名) 大塚 康雄

TEL 042-799-5577

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,755	8.8	142	42.7	140	90.9	84	208.8
21年3月期第3四半期	3,452	—	99	—	73	—	27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	5,986.54	—
21年3月期第3四半期	1,622.77	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	2,035	786	38.7	55,472.11
21年3月期	1,845	716	38.8	50,485.58

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 786百万円 21年3月期 716百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				1,500.00	1,500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,087	12.4	135	11.6	125	98.4	69	283.3	4,863.95

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	16,990株	21年3月期	16,990株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	2,804株	21年3月期	2,804株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	14,186株	21年3月期第3四半期	16,946株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績とは異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計におけるわが国の経済は、海外の景気回復による輸出、生産活動に持ち直しの兆しが見られるものの、依然国内では雇用情勢の悪化、消費者の消費意識の冷え込みなどが、近年のデフレ傾向を加速させ、小売業界の経営環境は、依然と厳しい状況が続いております。

このような状況下において、当社の属するリユース業界では、消費者の低価格志向並びに環境問題意識の高まりから、市場規模は着実に拡大しております。当社においては、市場規模の拡大、消費者のリユース・リサイクルに対する意識の変革に対応するため、直営事業では、積極的に新規出店を行っております。また、店舗運営の合理化のため、関東圏外の一部店舗では、地元根付いた店舗展開を推し進め、フランチャイズ店への転換を行っております。

フランチャイズ事業においては、既存フランチャイズ店への販売力強化の為のノウハウ提供を行い、新規開発では、未開発エリアへのフランチャイズ店誘致、既存フランチャイズ店の多店舗展開の推進を行っております。

当第3四半期会計期間末の店舗数の増減は、「アップガレージ」の新規出店は、直営店3店舗、フランチャイズ店7店舗（内4店舗は、直営店からフランチャイズ店への転換）の合計10店舗、閉店は、直営店4店舗（4店舗ともに、フランチャイズ店への転換）、フランチャイズ店1店舗の合計5店舗、「アップガレージ ライダース」は、フランチャイズ店1店舗の出店、「アップガレージホイールズ」ではフランチャイズ店2店舗の出店がありました。よって、当第3四半期会計期間末の店舗数は、「アップガレージ」71店舗（内フランチャイズ店55店舗）、「アップガレージ ライダース」11店舗（同店10店舗）並びに「アップガレージ ホイールズ」10店舗（同店7店舗）を全国展開し、直営店及びフランチャイズ店の合計店舗数は92店舗となっております。

当第3四半期会計期間末における当社の出店、閉店の状況は以下のとおりです。

	出店		閉店		第3四半期会計期間末店舗数		
	直営店	フランチャイズ店	直営店	フランチャイズ店	直営店	フランチャイズ店	合計
アップガレージ	3店	7店（4）	4店（4）	1店	16店	55店	71店
アップガレージ ライダース	—	1店	—	—	1店	10店	11店
アップガレージ ホイールズ	—	2店	—	—	3店	7店	10店
合計	3店	10店（4）	4店（4）	1店	20店	72店	92店

（注）カッコ内は、転換による増減で、内書きで記載しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は順調に推移し、3,755,587千円（前年同四半期比8.8%増）となりました。利益面につきましては、当第3四半期累計期間に直営店の新規出店に伴う出店費用の発生がありましたが、既存店舗の業績が好調だったことにより、営業利益142,483千円（前年同四半期比42.7%増）、経常利益140,609千円（前年同四半期比90.9%増）、四半期純利益は84,925千円（前年同四半期比208.8%増）となりました。

事業別概況は以下のとおりです。

#### （直営事業）

当第3四半期累計期間の直営事業においては、直営店からフランチャイズ店への転換が4店舗あったものの、前事業年度の新規出店並びに当累計期間の新規出店が寄与し、売上高は順調に推移し3,340,848千円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

#### （フランチャイズ事業）

フランチャイズ事業では、既存店舗の売上高が前年同期を若干下回りましたが、当四半期累計期間に直営店からフランチャイズ店に転換した4店舗の売上高が寄与し、ロイヤリティ収入は189,176千円（前年同四半期比0.5%増）となりました。また、ロイヤリティ以外の収入においても、若干ではありますが前年同期を上回り、225,562千円（前年同四半期比0.1%増）となりました。結果、フランチャイズ事業の売上高は、414,739千円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の資産の状況は、前事業年度末より189,465千円増加し、2,035,257千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加50,186千円、売掛金の増加37,202千円、商品の増加47,743千円及び敷金及び保証金の増加25,432千円等の増加要因があったことによるものです。

負債の状況は、前事業年度末より118,726千円増加し、1,248,329千円となりました。これは主に、仕入債務の増加45,167千円に加え、未払法人税等の増加65,481千円があったことによるものです。

純資産の状況は、前事業年度末より70,739千円増加し、786,927千円となりました。これは主に、配当に伴う利益剰余金の取り崩し14,186千円がありましたが、四半期純利益84,925千円を計上したことによるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末の現金同等物（以下「資金」）は、前事業年度末に比べ72,832千円増加し、500,796千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりとなります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、186,250千円（前年同四半期は47,111千円の減少）となりました。これは主に、売上債権37,202千円の増加、たな卸資産47,123千円の増加による資金の減少がありましたが、税引前四半期純利益158,649千円の計上及び仕入債務45,167千円の増加に伴う資金の増加によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、75,363千円（前年同四半期は121,600千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出81,209千円、敷金及び保証金の差入による支出34,849千円の資金の減少があったものの、定期預金の払戻による収入44,782千円、有形固定資産の売却による収入20,043千円の増加によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、38,053千円（前年同四半期は136,094千円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出100,000千円、長期借入金の返済による支出168,839千円及び配当金の支払13,864千円等の減少があったものの、長期借入金による収入250,000千円の増加によるものです。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における当社業績は、直営事業では、前事業年度及び当四半期累計期間の新規出店が寄与し、売上高は前年同期を上回り、順調に推移しております。また、フランチャイズ事業においては、既存店舗の売上高が、前年同期を若干下回りましたが、全店としては、直営店のフランチャイズ店転換を推し進めたことにより、前年同期を若干上回ることとなりました。

利益面につきましては、前述の説明に加え、直営事業の新規出店計画の一部が第4四半期以降に繰り延べたこと、販売費及び一般管理費が圧縮したこと、フランチャイズ事業の新規加盟契約が順調に推移していること等により、順調に推移しております。

また、第4四半期会計期間において、平成22年1月14日公表「アップガレージ本店並びに本社機能移転に関するお知らせ」のとおり、店舗並びに本社機能の移転がありますが、その費用は通期の業績に織り込んだ上、損益に与える影響は軽微なものと考えております。

以上の結果、通期の業績予想につきましては、平成21年5月14日公表の予想数値に変更はございません。

## 4. その他

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 簡便な会計処理

##### 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

#### 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	550,891	500,704
売掛金	250,745	213,543
商品	681,339	633,596
貯蔵品	223	843
前払費用	43,929	36,869
繰延税金資産	18,537	14,950
未収入金	14,376	9,175
預け金	3,748	5,477
その他	3,906	4,068
貸倒引当金	△8,267	△7,533
流動資産合計	1,559,433	1,411,696
固定資産		
有形固定資産		
建物	234,513	226,833
減価償却累計額	△124,265	△118,387
建物(純額)	110,247	108,446
構築物	71,111	63,989
減価償却累計額	△44,406	△46,355
構築物(純額)	26,704	17,633
機械及び装置	51,600	50,605
減価償却累計額	△26,851	△28,486
機械及び装置(純額)	24,749	22,118
車両運搬具	15,652	7,582
減価償却累計額	△10,298	△4,883
車両運搬具(純額)	5,354	2,699
工具、器具及び備品	237,353	233,789
減価償却累計額	△185,798	△189,438
工具、器具及び備品(純額)	51,555	44,350
リース資産	19,330	19,330
減価償却累計額	△14,619	△12,817
リース資産(純額)	4,710	6,513
有形固定資産合計	223,321	201,762
無形固定資産		
商標権	1,041	1,288
ソフトウェア	39,988	45,867
電話加入権	2,531	2,531
リース資産	5,720	8,060
無形固定資産合計	49,281	57,747
投資その他の資産		
出資金	10	10
繰延税金資産	10,296	7,509
敷金及び保証金	189,899	164,467
破産更生債権等	21,421	21,421
長期前払費用	916	500
貸倒引当金	△19,323	△19,323

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
投資その他の資産合計	203,220	174,585
固定資産合計	475,823	434,095
資産合計	2,035,257	1,845,791
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,797	79,629
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	254,852	221,432
リース債務	7,118	7,031
未払金	46,009	63,669
未払費用	42,515	34,183
未払法人税等	71,172	5,690
未払消費税等	21,326	—
未払配当金	567	246
預り金	8,905	5,469
賞与引当金	9,158	13,755
その他	17,276	8,156
流動負債合計	703,700	639,264
固定負債		
長期借入金	493,807	446,066
リース債務	6,022	11,372
長期預り保証金	44,800	32,900
固定負債合計	544,629	490,338
負債合計	1,248,329	1,129,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	268,330	268,330
資本剰余金	287,225	287,225
利益剰余金	296,760	226,021
自己株式	△65,388	△65,388
株主資本合計	786,927	716,188
純資産合計	786,927	716,188
負債純資産合計	2,035,257	1,845,791

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	3,452,085	3,755,587
売上原価	1,913,925	2,037,837
売上総利益	1,538,159	1,717,750
販売費及び一般管理費	1,438,308	1,575,266
営業利益	99,851	142,483
営業外収益		
受取利息	491	252
受取手数料	5,191	5,808
その他	4,625	5,824
営業外収益合計	10,308	11,886
営業外費用		
支払利息	12,162	11,188
支払手数料	24,183	1,095
その他	159	1,475
営業外費用合計	36,505	13,760
経常利益	73,654	140,609
特別利益		
固定資産売却益	165	—
賞与引当金戻入額	942	738
貸倒引当金戻入額	1,147	—
店舗譲渡益	—	17,879
特別利益合計	2,256	18,617
特別損失		
固定資産除却損	3,611	259
固定資産売却損	—	317
本社移転費用	6,608	—
訴訟和解金	1,964	—
特別損失合計	12,183	577
税引前四半期純利益	63,726	158,649
法人税、住民税及び事業税	25,065	77,925
過年度法人税等	3,339	2,173
法人税等調整額	7,821	△6,374
法人税等合計	36,227	73,724
四半期純利益	27,499	84,925

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	63,726	158,649
減価償却費	32,482	45,289
その他の償却額	22,866	19,877
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,917	△4,596
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,563	733
受取利息及び受取配当金	△491	△252
支払利息	12,162	11,188
固定資産除却損	3,611	259
固定資産売却損益 (△は益)	△165	317
移転費用	6,608	—
売上債権の増減額 (△は増加)	8,920	△37,202
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△126,560	△47,123
その他の資産の増減額 (△は増加)	△9,577	△10,472
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,032	45,167
その他の負債の増減額 (△は減少)	19,571	31,151
小計	15,640	212,988
利息及び配当金の受取額	491	252
利息の支払額	△12,772	△11,453
法人税等の支払額	△50,470	△15,537
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47,111	186,250
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	44,782
定期預金の預入による支出	△27,064	△22,136
有形固定資産の取得による支出	△47,458	△81,209
有形固定資産の売却による収入	—	20,043
有形固定資産の除却による支出	△3,008	—
無形固定資産の取得による支出	△14,354	△11,411
敷金及び保証金の差入による支出	△32,337	△34,849
敷金及び保証金の回収による収入	2,623	9,417
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,600	△75,363
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	400,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△231,799	△168,839
社債の償還による支出	△7,000	—
自己株式の取得による支出	△2,897	—
配当金の支払額	△16,720	△13,864
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,263	△5,349
割賦債務の返済による支出	△225	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	136,094	△38,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△32,617	72,832
現金及び現金同等物の期首残高	433,533	427,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	400,916	500,796



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. 生産、受注及び販売の状況

### (1) 生産実績

該当事項はありません。

### (2) 受注状況

当社は一般顧客（最終消費者）を対象とした店舗販売であるため、記載を省略いたします。

### (3) 仕入の状況

中古カー用品等の販売事業における商品分類別仕入実績

商品分類別	当第3四半期累計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年12月31日)		
	仕入高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
タイヤ・アルミホイール	579,517	28.9	106.0
カーオーディオ カーエレクトロニクス	344,407	17.2	98.1
カースポーツ用品	285,988	14.2	102.1
その他のカー用品	796,404	39.7	119.7
合計	2,006,318	100.0	108.8

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 金額は仕入価格によっております。

### (4) 販売の状況

商品分類別販売実績

商品分類別	当第3四半期累計期間 (自 平成21年14月 1日 至 平成21年12月31日)			
	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)	
タイヤ・アルミホイール	1,223,766	32.6	110.1	
カーオーディオ カーエレクトロニクス	709,897	18.9	106.5	
カースポーツ用品	604,363	16.1	119.9	
その他のカー用品	802,820	21.4	106.1	
小計	3,340,848	89.0	110.0	
フランチャイズ収入	ロイヤリティー収入	189,176	5.0	100.5
	その他の収入	225,562	6.0	100.1
	小計	414,739	11.0	100.3
合計	3,755,587	100.0	108.8	

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。